

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	森林管理促進事業			事業番号	23-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	石田康弘	農業振興課農林整備担当	吉野雅彦	

計 画 (Plan)						
総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち		
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり		
		施策展開の方向	10	地域の産業が盛んなまちをつくる		
		施策	23	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進		
予算事業名	林業基盤整備事業費 森林管理事業費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある		
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—	
関連法令等	森林法、県補助金交付要綱(水源の森林づくり協力協約事業、水源環境保全・再生市町村補助金事業)					
国・県の計画等	かながわ森林再生50年構想、神奈川地域森林計画		計画期間	平成23年度～		
関連個別計画	伊勢原市森林整備計画、第3期水源環境保全・再生市町村5か年計画		計画期間	平成23年度～		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	水源の森林エリア内の高齢級の間伐、枝打ちなど、森林の適正な整備及び保全を行っていかなかで、施業着手が困難な状況にある森林が散見されるため、施業に必要な作業路網の整備を推進していく必要があります。また、市内では野生動物が頻発に出没し集落に悪影響を与えているため、水源涵養機能の向上とともに野生動物の出没を抑制する狙いから、集落周辺の荒廃した森林を整備する必要があります。					
目的 (何をどうしたいのか)	森林の荒廃を防ぎ森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、作業路の整備など、継続的な森林整備を進めます。					
主な対象 (誰・何を対象に)	民有林					
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 作業路(枝打、間伐、木材搬出用道路 幅員 W=2.5m)網の整備を行います。 協約締結地において、間伐、枝打等の森林整備を行います。 集落周辺(大山地区、高部屋地区及び比々多地区等)において、間伐、枝打、除伐及び地拵え等の森林整備を行います。 					
事業行程	項目	年度				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		作業路の整備	工事	工事	工事	
		協約締結地の森林整備	間伐・枝打	間伐・枝打	間伐・枝打	
目 標	【指標名】	【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	作業路の整備延長	L=692m (平成29年度)	L=650m	L=650m	L=700m	

↓
事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	・森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、引き続き、森林組合と事業執行の調整を図り、作業路の整備、森林の整備を計画的に進めます。				
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施		<input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		補助先	伊勢原市森林組合	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		具体的内容	直営による実施	
実施結果	項目		年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	作業路の整備		工事	工事	工事
	協約締結地の森林整備		間伐・枝打	間伐・枝打	間伐・枝打
	集落周辺の森林整備		間伐・枝打・除伐・つる切り	間伐・枝打・除伐・つる切り	間伐・枝打・除伐・つる切り
実施した取組の内容	・作業路L=988mの整備を実施しました。 ・協約締結地A=15.80haの森林整備を実施しました。 ・集落周辺A=4.30haの森林整備を実施しました。				
目標の達成状況	【指標名】		年度		
	【現状値】		平成30年度	令和元年度	令和2年度
作業路の整備延長		L=692m (平成29年度)	L=668m	L=860m	L=988m

	年度	平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
		千円	円	千円	円	千円	円	千円	円	千円	円		
コスト	事業費合計 (a)		25,249	千円	23,181	千円	20,760	千円					
	内訳	国県支出金 ①	21,360	千円	19,475	千円	16,907	千円					
		地方債 ②	0	千円	0	千円	0	千円					
		その他特財 ③	0	千円	0	千円	0	千円					
		一般財源 (a)-①-②-③	3,889	千円	3,706	千円	3,853	千円					
国県支出金の内容		神奈川県協力協約推進事業補助金 補助率90% (作業路) 補助率80% (森林整備) 神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金 補助率100%											
その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期									
	その他												
人件費	正規職員	0.37	人	3,149	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	その他の職員	0	人	0	千円	0.37	人	981	千円	0.37	人	984	千円
	人件費合計 (b)	0.37	人	3,149	千円	0.37	人	981	千円	0.37	人	984	千円
トータルコスト (a)+(b)		28,398	千円	24,162	千円	21,744	千円						
単位当たりコスト	対象数	定義	市民	単位	市民	単位	市民	単位	市民	単位	市民	単位	
		対象数	102,416	人	102,248	人	102,046	人					
	総事業費 / 対象数	277	円	236	円	213	円						

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	作業路の整備計画延長L=700mに対し、L=988mの整備を行いました。また、作業路を活用した協力協約締結地の森林整備や、集落周辺の森林整備を効率的に行うことができました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	神奈川県標準単価を使用していることから、他市と同水準での事業実施が行えています。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	作業路の整備により、林業機械の導入が可能となり、林業作業の効率化、生産性の向上につながる等、有効な森林整備を行うことができました。また、集落周辺の森林整備を行ったことで、有害鳥獣の出没抑制の効果が期待されます。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	森林施業に従事している森林組合に本事業を委託することで、効率的に実施することができました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	森林において、事業を実施するためには地権者の同意が必要不可欠となります。整備個所によっては地権者数が多数となることから、同意を得る作業に時間を要します。
令和3年度取組方針	森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、引き続き森林組合と事業執行の調整を図り、作業路の整備、森林の整備を計画的に進めます。
所管部長による総評	森林の持つ多面的機能(土砂災害の防止・水源涵養など)を発揮させるためには、適切な森林施業を継続的に実施する必要があります。このため、作業路の整備や森林整備は必須であり、今後も計画的に推進していく必要があります。